

No.	540-010	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	0 1	生活基盤の充実				所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	0 3	安全で良質な水の安定供給				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名		
	一般	0 6	0 1	0 5	84090	農地費	法令根拠 なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
上水道の無い現況のなかで、安定的な生活飲用水を供給するために、小田西水道管理組合が管理している施設の維持管理に対する経費の補助である。 補助交付金額:100,000円 給水個数:24世帯 配水管延長:2,025m						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 16 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 修理の件数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 施設点検の回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	小田西水道管理組合員 小田西水道管理組合 維持管理に関する経費	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	飲用水が安定的に供給される。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安全で良質な水を安定して供給できる。	名称	単位
		ア 組合員数	世帯
		イ 管理経費	円
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 安定的に供給されなかったと感じた人の数(苦情件数 / 供給世帯)	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 断水件数	件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	100	100	100	100		
	事業費計(A)	千円	100	100	100	100			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	100	100	100	100		
活動指標	ア	件	0	0	0	0			
	イ	回	365	365	366	365			
	ウ								
対象指標	ア	世帯	24	24	24	24			
	イ	円	387,524	493,383	539,372	450,000			
	ウ								
成果指標	ア	%	0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	件	46	76	51	36			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和60年4月から供用開始になり、施設の老朽化が進み、さらには組合員の高齢化に伴い維持管理が組合員だけでは困難なため、平成16年度から補助金を交付して、施設の維持管理と組合員の労力の軽減を図るために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
以前にも増し施設の老朽化が進み、施設の維持管理に伴う大規模な修繕については、行政で行っており、現在のところ安定的に飲用水の確保ができています。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
平成14年9月議会(旧隼人町)において、上水道に切り替えるべき提案がなされている。またガーデンシティ計画の中で整備される予定であったが、この計画が中止になり現在に至っている状況である。	

事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 飲料水を安定的に供給することは、安全で良質な水の安定的供給に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 飲用水確保のために市が設置した施設を適切に管理するための経費に対し、一部補助を行うことは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 飲用水を利用している管理組合員で構成している団体であるため、対象については妥当である。また施設の維持管理を行い、安定的な飲用水の供給が必要なことから意図も妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 現状では100%に近い対応が出来ている。しかしながら、上水道への移行により成果を向上させる余地がある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 維持管理が難しくなり、飲用水の確保が出来なくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 上水道への移行	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 安定した飲用水の供給に必要な維持管理費であるため、現時点ではこれ以上の削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な人件費である。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 簡易水道を利用している他地域と同等の水量・水質を確保しているため公平公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現在100%に近い維持管理が出来ているが、施設の老朽化の進行に伴い安定した供給が出来なくなることが予想されるため、上水道への移行が必要であると考えられる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 組合員の高齢化に伴い組合員での管理が困難になり、さらには施設の老朽化の進行により補助金だけでは対応が出来なくなる。そのため、上水道整備事業による改善が必要であると思われる。																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
上水道を整備するための関係機関との協議。

No.	540-030	事務事業名	土地改良区運営支援事業			所属部	農林水産部
						所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			課長名	馬場 義光
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 5	84090	農地費	

事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
土地改良区(十三塚原土地改良区・竹子土地改良区・宮内原土地改良区・福山町土地改良区)に運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動)土地改良区に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (土地改良区の活動)農業用施設の維持管理、賦課金の徴収 *土地改良区とは、土地改良法に基づき設置された団体で、土地改良区内に農地を保有する農家を組合員として構成される。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 50 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
20年度実績 (20年度に行った主な活動)		ア 補助金交付団体数	団体
事務事業の概要と同じ (十三塚原土地改良区5,465・竹子土地改良区3,515・隼人町宮内原土地改良区764・福山町土地改良区2,375)		イ	
21年度計画 (21年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様			
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
土地改良区の組合員		名称	単位
(補助金交付先)土地改良区		ア 組合員数	人
(補助対象活動)土地改良区の運営に関する経費		イ	
		ウ	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
組合員 (農家)の賦課金が軽減される。		名称	単位
		ア 歳入予算に対する賦課金の割合	%
		イ	
		ウ	
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	単位
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	12,759	12,759	12,119	12,119		
	事業費計 (A)	千円	12,759	12,759	12,119	12,119			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,759	12,759	12,119	12,119			
活動指標	ア 団体		4	4	4	4			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 人		2,175	2,175	4,207	4,207			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %		30	29	28	28			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 戸		300	313	323	321			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
主に大規模な事業(圃場整備事業、かんがい事業)が導入され、維持管理の部門が必要となったため。土地改良区の整備に関しては、国・県・市そして受益者負担によって行われた。4改良区に関しては施設の規模が大きく、また維持管理を行っている区域内には一部市の道路等を含むことから補助金を交付することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
事業の完成から年月が経ち、施設の老朽化並びに管理者の高齢化に伴い以前より管理に苦慮している。平成19年4月1日県からの権限委譲により、土地改良区に対する指導権限が市に移譲された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
受益者(区域内の農地所有者)からは、できるだけ改良区の賦課金を上げずに安定した用水が確保できるよう要望されている。用排水路には住宅からの排水が流れ込むために水質が悪化、有機農法を取り入れられない等農産物の品質に影響があるとの意見もある。	

事務事業名	土地改良区運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下								
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													

No.	540-110	事務事業名	土地改良区償還金軽減事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	06	01	05	84090	農地費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
十三塚原土地改良区(畑総事業)、福山土地改良区(特殊農地保全事業)で行った事業について、地元負担金(旧町分担金と農家負担金)を土地改良区が全額借入し、年賦償還している。改良区の円滑な運営と受益者の負担を軽減するために、償還金補助を支払っている。改良区が、補助金申請を行い交付決定後支払い、金融機関へ期日までに支払う。 償還金補助金額 19年度 43,662,971円(十三塚原改良区) 9,181,285円(福山町土地改良区) 20年度 30,756,119円(十三塚原改良区) 9,181,285円(福山町土地改良区) 21年度 23,398,654円(十三塚原改良区) 5,129,465円(福山町土地改良区)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
							↳ (S 50 年度 ~ H 22 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 補助金交付団体数	
		団体	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様だが、償還補助金が減額。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
両土地改良区組合員		名称	
(補助金交付先)十三塚原土地改良区、福山町土地改良区		単位	
(補助金対象活動)土地改良区の運営に関する経費(償還金補助)		ア 組合数	
		人	
		イ 受益面積	
		ha	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
受益者負担金の軽減		名称	
土地改良区の安定運営を図る。		単位	
農業用施設の機能保全		ア 負担金の徴収率	
		%	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
効果的な生産を行う基盤が整う。		名称	
		単位	
		ア 農業生産基盤の整備率	
		%	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	63,232	52,845	39,938	28,529		
	事業費計(A)	千円	63,232	52,845	39,938	28,529			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	63,232	52,845	39,938	28,529			
活動指標	ア	団体	2	2	2	2			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	1,674	1,674	1,530	1,530			
	イ	ha	1,026	1,026	1,026	1,026			
	ウ								
成果指標	ア	%	100	100	100	100			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	50.3	50.3	51.2	50.8			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
県営事業の実施で多額な地元負担金(町分担金と農家負担金)を土地改良区が全額借入れ、農林公庫に償還することとなったため、十三塚原土地改良区は昭和50年から、福山町土地改良区は昭和61年から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に変化なし。	

事務事業名	土地改良区償還金軽減事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 受益者負担を軽減することで土地改良区の安定を図ることは、効率的な生産基盤を整えることを支援することであるため、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 改良区が借入を行った農林漁業資金借入金には、本来支払うべき旧町分担金を含むため、市が補助するのは妥当。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 償還金補助は旧町(溝辺町、隼人町、福山町)の継続事業であるため、妥当。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 借入した事業自体は既に終了しており、償還年次表に基づいて年賦償還しているため。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 借入金の償還金額は各市町及び県・農家分担金の合算であるため、支払が滞る恐れがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 償還金補助は本事業のみである。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 償還計画を立てて支払いを行っているため、これ以上の削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 償還補助申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な最低限の人件費である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 基盤整備事業に対する償還金補助であり、受益者である農家は公平に利益を受けている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	協議に基づく年賦償還のため妥当と考える。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	540-160	事務事業名	宮内原土地改良区管理費負担事務				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	0 2	生活環境の向上				所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	0 1	環境衛生の向上				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名		
	一般	0 6	0 1	0 5	84090	農地費	法令根拠 なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
宮内原用水路は、水田への用水給水、集中豪雨時の調整機能、防火用水等の役割、流域住民の排水路としての機能等を合わせて持っている。これらのうち、排水機能確保のために係る維持管理費の一部を負担している。 平成18年度 800千円 平成19年度 800千円 平成20年度 800千円 (宮内原用水路 総延長 20.29km)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 元 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	維持管理回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(対象)周域住民		名称	
(交付先)準人町宮内原土地改良区		単位	
(対象活動)用水路の維持管理(泥あげ、草刈等)		ア	周域の自治会数
			団体
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
環境悪化が軽減される(悪臭等の改善)。		名称	
		単位	
		ア	苦情件数
			件
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
衛生的で安全な生活環境が保たれる。		名称	
		単位	
		ア	生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	800	800	800	800	
	事業費計(A)	千円	800	800	800	800		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	800	800	800	800		
活動指標	ア	回	128	128	128	128		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	団体	57	57	57	57		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	件	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	72.3	71.6	80.3	78.6		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成元年頃から、流域住民の排水量が增大し、その用排水路の維持管理に多大な労力を費やすため、住民排水に係る経費の一部を負担することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農地と宅地の混住化が進み、生活污水等の増加により維持管理に苦慮している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	宮内原土地改良区管理費負担事務	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 用水路の維持管理を行うことにより悪臭等が抑えられ、周域の生活環境の向上につながるため、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 本来市が担うべき市民の生活環境を守るための活動に対して、市が支援するのは妥当。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 用水路の維持管理を行うことにより、周域住民の生活環境が衛生的に保たれているため意図・対象は適切である。また当該用水路の管理は宮内原土地改良区が行っているため交付対象も適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 現状において適切に管理されており、衛生的な環境が維持されている。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 用水路の環境が悪化し、悪臭やゴミの堆積等の被害が起こる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 防火用水・生活排水対策事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 環境衛生課も生活雑排水の流入増大にともない負担金を歳出している。これまでの経緯を協議して、連携した対応が必要と思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 用水路の維持管理に必要な最小限の事業費である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 他事業との統合による削減は可能。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 直接的な受益は限定されるが、総じて市内における生活環境を維持させることになるため公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	環境・防火用水として利用されていることから負担金名目で支出が重複している。再協議を検討したい。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 窓口の一本化を図ることによる支出額の改善。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 関係課との事業調整について、企画部等と協議を行い、予算化、事業の見直しを行う。																											

No.	540-200	事務事業名	中山間ふるさと水と土保全基金管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 5	84077	基金積立金	霧島市中山間ふるさと・水と土保全基金条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
中山間地域で土地改良施設(農道及び用排水路等)の機能を適正に発揮していくための集落共同活動を支援するため、基金を設立。基金を運用しそれから生まれる利益で、清掃活動や環境保全の研修等の経費や基金運用に必要な経費に充てる。 基金の額は、7,000万円である。 [中山間地域]とは山間地及びその周辺の地域の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な地域。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 5 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 活動を支援していきだけの収益がなく活動はできなかった。なお20年度の運用益は、424,290円である。		名称 ア 活動回数 単位 回	⇒
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様。		名称 イ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 集落共同活動団体 農地		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 団体数 単位 団体 イ 農地面積 単位 ha ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業用施設の能力が適正に発揮される。 市民等の環境保全に対する意識を高める。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 活動参加人員 単位 人 イ 対象農地面積 単位 ha ウ	⇒
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行う基盤が整う。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 農業生産基盤の整備率 単位 % イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円				216		
		一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	0	216			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	216			
活動指標	ア 回		0	0	0	0			
対象指標	ア 団体		未把握	未把握	未把握	未把握			
	イ ha		8,732	8,513	8,454	8,400			
	ウ								
成果指標	ア 人		0	0	0	0			
	イ ha		0	0	0	0			
	ウ								
上位成果指標	ア %		50.3	50.3	51.2	50.8			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
土地改良施設(農道及び用排水路)の機能を適正に発揮させるための集落共同活動を支援するため、設置された。旧市町で設置時期が異なるが、平成5、6年からである。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
低金利状態が長く続いたため財源が確保できず、運用益があがらなくなった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	中山間ふるさと水と土保全基金管理事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 細やかな手入れにより農業用施設の機能が適正に発揮され、効果的な生産を行うことができ生産基盤の機能確保されることから政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 耕作放棄地の増加や農業従事者の高齢化により農業用施設の保全・維持管理が難しくなっており、市が支援することは妥当。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 中山間地域において耕作放棄地や高齢化が顕著であるため対象・意図については妥当。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 今後の金利動向により共同活動への支援が出来るだけの運用益があがるかどうか不明であるので、現在においては成果向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 今後益々高齢化が進むにつれて、集落の維持管理が難しくなるため必要な事業と思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 農地・水環境保全向上事業対策事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 地域、予算規模において連携はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ すでに現在の基金の運用益が少ないため、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現在は活動支援を行うだけの運用益がないため、主に経理的な事務に係る人件費のみである。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 地域指定内であれば受益機会は公平にある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	基金造成時の金利動向と現時点の状況は大きく変化し、運用益による成果は見いだせない。しかし現状維持しながら活用策を見いだして行きたい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲	▲	▲																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	540-210	事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	耕地グループ
	基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	06	85035	農業・農村活性化推進施設等整備事業	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
通常の補助事業(国庫補助)の採択要件に合わない小規模な事業を県からの補助(事業費45%)を受け農業用施設の改良や補修を行う事業。 採択要件: 上限4,000万円、受益面積5ha(中山間地域は1ha) 農道整備の場合延長:100m以上幅員3m		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
かんがい排水 2地区		ア	整備した農業用施設の数
		イ	整備された農業用施設に対する受益面積
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
かんがい排水 1地区 農道 1地区		名称	
		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	農業用施設
改良に要する農業用施設(農道・用排水路ほか)		イ	農業施設の受益者数
農家		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
農業用施設の機能改善が図られる。		名称	
		単位	
		ア	農業用施設の整備された事業量
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
効率的な生産を行う基盤が整う。		名称	
		単位	
		ア	農業生産基盤の整備率
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	24,975	7,830	16,785	9,945		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	31,636	9,570	20,515	12,165		
		事業費計(A)	千円	56,611	17,400	37,300	22,110		
トータルコスト(A)+(B)		千円	56,611	17,400	37,300	22,110			
活動指標		ア	件	9	4	2	2		
		イ	ha	48	13	38	10		
		ウ							
対象指標		ア	件	未把握	未把握	未把握	未把握		
		イ	人	5,889	5,889	5,889	5,889		
		ウ							
成果指標		ア	m	1,304	650	96	570		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	%	50.3	50.3	51.2	50.8		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
小規模地区における農業生産の向上を図るとともに、農村の活性化に資するために県が独自に補助事業を設け、この事業を活用することで市の財政負担の軽減を図りながら生産基盤の整備を行うために開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
県の財政悪化に伴い、採択地区数が減ってきている、また、農地と住宅地の混住化が進み、生産基盤整備はもとより生活環境整備に伴う施設整備が増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 改良を必要とする農業用施設の機能改善が図られることで、効果的な生産を行うことができ、生産基盤の機能が確保されることから、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農業用施設は市が保有する施設であり、維持管理や補修等を市が行うのは妥当。(市民(=消費者)が安心安全な農産物の提供を受ける為に農業を守る必要がある。)
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 県の財政悪化に伴い事業採択率が低下しており対象を拡充することは困難である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 設計基準に則り、かつ補助事業で認められた範囲内で計画し、事業実施している。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 農業用施設の機能改善に係る費用を市単独で負担することになり、市の財政負担が大きくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ それぞれの事務事業の採択基準が異なることから事業規模に応じて事業を使い分けているため、統廃合できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 公共事業として、適切に積算されコスト縮減対策も加味された事業であるので削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務手続き及び工事に伴う設計施工管理のすべてを最低人員で行っており、また県の補助事業であることや先の業務を正職員以外の職員等では対応できない。但し、設計に関しては委託を一部行っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 要望箇所及び施設の老朽化の著しい箇所等で市全体の緊急順位を勘案し県への事業採択要望を行っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	要望の次年度に事業実施ができる事業として重宝されていたが、県の財政事情から状況が変化している。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲	▲	▲																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	540-250	事務事業名	農道・用排水路整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	耕地グループ
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 6	85090	農道及び用排水路整備事業	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
農業農村の生活、生産基盤である農道及び用排水路等の農業用施設の維持管理を行う。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 修繕料 156件 委託料 34件 使用料85件 工事箇所 13箇所 原材料 111件		ア 農業用施設の維持管理箇所数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度同様に修繕・委託等執行し維持管理に努める。		イ 維持管理される施設の受益者数	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農業用施設 市民		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業用施設の機能保全 利用者の安全確保		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行う基盤が整う。		名称	
		ア 農業用施設の修繕等要望箇所数	
		イ 市民(人口)	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア 修繕等対応箇所数/修繕等の要望箇所数	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア 農業生産基盤の整備率	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	104,744	74,584	103,026	90,479		
		事業費計(A)	千円	104,744	74,584	103,026	90,479		
トータルコスト(A)+(B)		千円	104,744	74,584	103,026	90,479			
活動指標	ア	箇所	380	390	399	420			
	イ	人	5,889	5,889	5,889	5,889			
	ウ								
対象指標	ア	箇所	420	420	420	440			
	イ	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	ウ								
成果指標	ア	%	90	93	95	92			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	50.3	50.3	51.2	50.8			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
農業経営の安定を図るために生産基盤整備を行った施設について、維持管理を行い、また補助事業に採択されない小規模な農業用施設について改良・改修等事業を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農地の生産基盤としての農業用施設の維持管理より、生活基盤としての施設の維持管理が増えている。また、市の財政の悪化に伴い事業実施が困難となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業実施の要望が多く寄せられている。	

事務事業名	農道・用排水路整備事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	改良や改善を必要とする農業用施設の機能が維持されることで、効果的な生産を行うことができ、生産基盤の機能が確保されることから、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	農業用施設は、市が保有する施設であり、修繕・補修等を市で行うのは妥当。(市民(=消費者)が安心安全な農産物の提供を受けるために農業を守る必要がある。)	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	市の財政悪化に伴い事業費が減少しており、これ以上対象を拡充することは困難である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	要望箇所の優先順位を決め、予算の範囲内で事業実施している。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	農家の負担が大きくなり、安定的な営農ができなくなるおそれがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	小規模な施設の改良や修繕は、この事業しかない。	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	最小限の費用で事業を行っており削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	苦情処理や要望への対応、さらに事業の設計や事業費の積算は、正規職員以外では対応できない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	要望箇所及び施設の老朽化等を勘案して緊急順位を決め事業を実施しているため、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農家等の理解のもと事業を峻別し、計画的に実施、効果を出している。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下	/		
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			/																				
	低下	/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								